

（左から）横井 裕人 氏、中島 貴弘 氏

「打ち込めるものに出会えた」。
RPA と共に開拓する、能力発揮の新たなチャンス

CORPORATE PROFILE

社　名
Man to Man Animo株式会社

事業内容
特例子会社（障害者雇用による Web制作事業ほか）

ウェブサイト
https://www.animostyle.jp/

- お話を伺った方 -
事業本部長
中島 貴弘 氏

WEB事業部 マネージャー
横井 裕人 氏

Highlight

- ☑ 障害者雇用の新領域として、在宅で取り組めるRPAに着目
- ☑ 通常の教材と一人ひとりの特性への配慮で、社内業務への応用に成功
- ☑ 業務切り出しの知見を生かし、受託での就労拡大を目指す

中京圏を拠点に人材派遣事業などを展開する Man to Man グループの Man to Man Animo 株式会社は、在宅で就労できる障害者雇用の新領域として、PC 上の定型作業をソフトウエアで置き換える RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)に着目し、BizRobo! を導入。まずグループ内の業務に応用を試みた。通常と同じ教材で学び、短期間でツール操作を習得した社員に対し、一人ひとりの特性に配慮しながら依頼を行ったところ、実用的なロボットの開発運用が十分可能なことが判明。需要の大きいスキルを獲得した社員の意欲もかつてなく高まった。RPA の導入過程で欠かせない、業務の分析・切り出しに関して豊富な知見を持つ障害者雇用支援の強みを生かしながら、今後は RPA を活用した就労支援や業務受託の開拓を進め、能力発揮の場をさらに広げていく計画だ。

Copyright © OPEN, Inc. All rights reserved.

導入背景 就労のハードルを下げ、技能の水準を高める方法を模索

Web サイト構築などに続く 在宅可のスキルとして RPA を発見

名古屋市に本社を置く Man to Man Animo 株式会社は、人材紹介・人材派遣事業などを展開する Man to Man ホールディングス株式会社の特例子会社だ。2004 年の設立以来、職業紹介や業務受託などを通じて障害者雇用の拡大に取り組み、約 30 人いる社員のうち 4 割近くが障害者手帳を所持。移動の困難さから在宅勤務を選ぶ社員も多い。

近年の同社を取り巻く環境について、事業を統括する中島貴弘氏は「相対的に障害の軽い人から就労を達成してきた一方、社会全体では生産性向上への意識が強まった結果『働くことのハードルを下げながら技能水準を高める』ことが求められています」と説明する。

そうした中、同社の Web 関連部門を率いる横井裕人氏は、2018 年 9 月放映のテレビ番組で RPA を知った。

「在宅勤務をかなえるスキルとして女性に人気との情報から、障害者雇用としての可能性も感じました」（同氏）



（左から）横井 裕人 氏、中島 貴弘 氏

BizRobo!を選んだ理由 「実行内容が一目で分かる」

操作対象の認識精度の高さも評価

ソフトウエアロボットの開発運用スキル獲得を通じ、障害者の在宅就労を拡大したいと考えた同社は、全国各地で開発者の育成を本格化していた RPA テクノロジーズ社との協力で合意した。具体的には、同社が提供する RPA ツール「BizRobo!」のライセンスを導入後、まずグループ内の定型業務を対象とした RPA 化で実効性を検証することとなった。

BizRobo! を選んだのは、開発者育成への姿勢が一致したことに加え、ツール自体の優位性も大きな理由だった。中島氏は「Web サイト構築担当の社員が RPA ツール 4 製品を比較した結果、操作画面上で作業の実行内容が一目で分かる点や、ロボットの認識精度が高く、任せたい動作を確実に指定できる点から、BizRobo! を選択しました」と明かす。



横井 裕人 氏

Copyright © OPEN, Inc. All rights reserved.

対象業務 入札情報の確認など、グループ内の3業務に応用

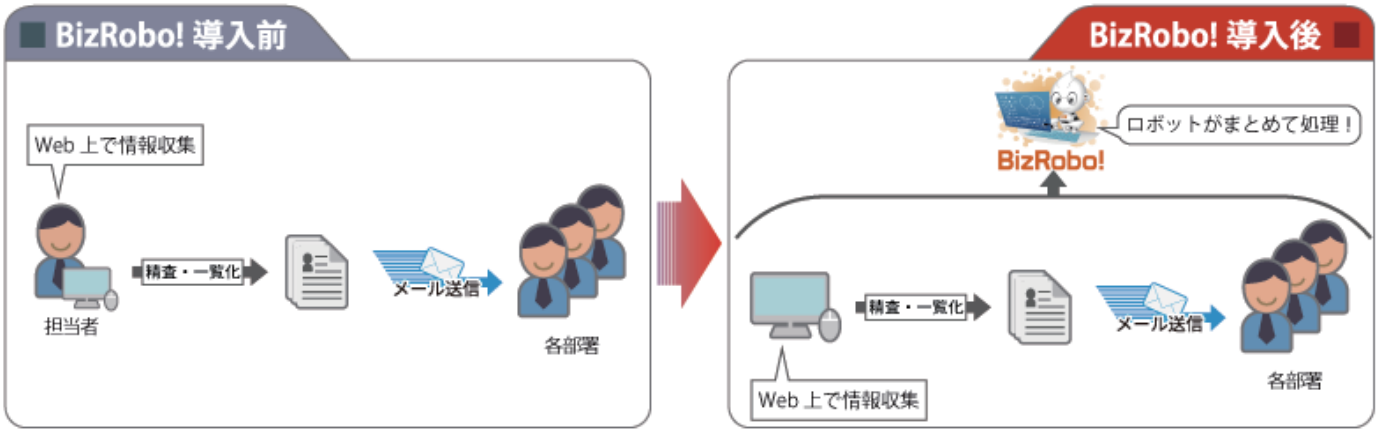
既存の研修メニューを受講、習熟まで最短 1 カ月

Man to Man Animo 社の業務では現在、「東海地域の主要自治体 Web サイトを毎日巡回し、更新された入札情報から自社事業に近いものを選んで一覧表にまとめ、担当部署にメールで通知するロボット」や、「請求データと対応するマスターデータを取得し、オンラインで振替伝票を起票するロボット」など、在宅勤務の社員らが開発した 3 種類のソフトウエアロボットが稼働中だ。

ブラウザ内蔵型の RPA ツールである BizRobo! は、「特に Web 上で取得したデータを転記するタスクに適している印象です」と横井氏。地元 IT 企業が提供するオンライン研修プログラムなど、既存のメニューを活用した BizRobo! への習熟も順調に進み、「速い社員は 1 カ月、じっくり取り組んだ社員も 1 年ほどで、本当にびっくりするほど実用的なロボットをつくれるようになりました」と、同氏は目を見張る。



中島 貴弘 氏



入札情報を収集して社内に発信する業務

導入効果 毎日3時間を要していた手作業を解消

効用を実感できるスキルの獲得が意欲を高める

入札情報の自動取得・通知ロボットが、毎日およそ 3 時間かけていた手作業を一掃するなどの定量効果と並んで、「BizRobo! に触れた社員の意欲が高まる」という、定性面での効果も顕著にみられた。

身体・精神の障害程度を問わず、理詰めで開発する RPA との相性がよい“潜在的な適任者”は少なくなかったという。中島氏は「初見での消極的な反応が 2 週間ほどで好転し、やがて『打ち込めるものに出会えた』という、かつてない感想も聞かれるようになりました」と、BizRobo! がもたらした変化を歓迎する。

RPA 化で就労機会を減らすことなく、むしろ人手不足の現場を支え、リソースの創出に貢献できるよう、同社は RPA スキルの習得を就労支援に採り入れながら、RPA 活用を交えた事務受託の拡大を目指していく方針。既に、委託訓練として RPA に興味を示す障害者職業能力開発校も現れている。

Copyright © OPEN, Inc. All rights reserved.

今後について

RPA導入の“つまずきポイント”を得意とする強み

医療・福祉業界の事務受託で業務効率化を提案

RPAの導入では一般に、効率化したい業務の内容を詳細に把握した上で工程を整理し、ロボットに委ねる作業を切り出すプロセスが必須とされており、この点が活用のネックになるケースも珍しくない。

「障害者の就労支援では、本来1人分とされる業務を分解し、必要な能力を部分的に備えた数人を充てて活躍の場を広げることがあります。そのため、業務分析や切り出しの提案は日常的に行っており、RPA活用を交えた事務受託の開拓でも強みを生かせると考えています」（中島氏）

既存事業の関係先でも、RPAを交えて業務効率化できる余地は多いとみられており、横井氏は「求人票の内容をシステムに手入力している労働局をはじめ、紙で管理しているサービス実績が電子請求システムと連携していない福祉サービス事業者や、電子カルテ導入後も書類仕事が残る医療機関などに、デジタル化の一体的なソリューションを提供できれば」と意気込みを見せている。



（左から）横井 裕人 氏、中島 貴弘 氏

現場の声

隠れていたRPA開発者の能力を実証

全国で共有したい、就労拡大の新たなモデル

この２年あまり、私たちが取り組んだ結果からは、RPA 開発の適性・意欲があり、積極的に学んだ障害者の高い技術水準が証明されました。

就労支援の実務家が業務分析を得意とすること、また雇用側に対する制度上の優遇もあることから、RPA 開発運用の受託分野において障害者雇用を有力なチャネルに育て、新たな在宅就労の機会を獲得することは現実的に十分可能だと期待しています。

今後は実運用を念頭にオンラインでの助言・相談を重ね、障害の特性を踏まえたコミュニケーションの知見を増やしていくとともに、そうした私たちのノウハウを就労拡大の新たなモデルとして、全国の同業者と共有していけたらと考えています。「パソコンスキル」と言っても、現在は Word や Excel のみでは就職に有利にはなりません。ですから、将来的には障害者職業能力開発校や特別支援学校などのカリキュラムへ RPA 教育を提案・導入してロボットを開発できる人材を育て、障害者就労機会の最大化を図っていきたいです。（中島氏）

OPEN
オープン株式会社は日本国内で長年にわたりRPA事業を展開し、業界・地域を問わずその活用ノウハウを提供しています。「ヒトの進化を共創する」ことをミッションに掲げ、BizRobo!をはじめとするRPA関連製品・サービスの提供により、個性が思う存分活かされ、楽しむ人たちが躍動する未来の実現に向かっていきます。
もっと情報を知りたい方は
BizRobo! 検索
https://rpa-technologies.com
お問い合わせ:

オープン株式会社　〒105-0003 東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル3F　BizRobo!事務局：Tel 03-6778-0864

※記載している内容は取材日時点の情報です。

Copyright © OPEN, Inc. All rights reserved.